



目 次

- ◆ [第8回東北・北海道地区国立大学法人理学部長会議開催される](#)
- ◆ [第109回国立大学法人10大学理学部長会議開催される](#)
- ◆ [カルフォルニア大学ロサンゼルス校（米国）と大学間交流協定へ](#)
- ◆ [「キャンパス・クリーン・デー」を実施](#)
- ◆ [北大祭「理学展」を開催](#)
- ◆ [学会賞等の受賞等](#)
- ◆ [国際会議・シンポジウム等の開催](#)
【化学部門】
 - [北海道大学グローバルCOEプログラム](#)
 - [「触媒が先導する物質科学イノベーション」](#)
 - [物質・材料研究機構国際ナノアーキテクトニクス（NANA）ジョイントシンポジウム](#)
 - [「化学を基盤とする物質科学イノベーション」](#)
- 【生命理学部門】
 - [ハイスクールフォーラム08札幌](#)
 - [「生物の多様性を考える」](#)
- 【総合博物館】
 - [サステナ・シンポ「Taxonomy Returns!」](#)
- ◆ [外国人研究者受入状況](#)
[（2008.04.02～2008.07.01）](#)
- ◆ [海外からの来訪者（短期滞在）](#)
[（2008.04.02～2008.07.01）](#)
- ◆ [学位授与](#)
[平成20年6月30日付け学位授与者](#)
[人事異動（正規職員・非正規職員）](#)
[（平成20年4月2日～平成20年7月1日）](#)
- ◆ [行事予定（平成20年7月～平成20年10月）](#)

第8回東北・北海道地区国立大学法人理学部長会議開催される

第8回東北・北海道地区国立大学法人理学部長会議が5月15日、東北大学の当番により仙台市で開催されました。

本会議においては、議題「学生や女性研究者に対する支援体制について」、各大学における取り組みと検討状況等について活発な意見交換及び情報交換が行われました。

参加大学：北海道大学、弘前大学、山形大学、東北大学（4大学）

第109回国立大学法人10大学理学部長会議開催される

第109回国立大学法人10大学理学部長会議が5月29日、30日の両日、大阪大学の当番により大阪市で開催されました。

はじめに、出席した文部科学省高等教育企画課高橋政策統括係長から、「学士課程教育の構築に向けて（審議まとめ）」について、資料に基づき説明後、意見交換が行われました。

議題として、

1. 平成20年3月25日 中央教育審議会大学分科会 制度・教育部会「学士課程教育構築に向けて（審議まとめ）」について
2. 博士前期課程学生に対する求職活動の解禁時期について
3. 大学院生のメンタルヘルスケアについて
4. 大学院生のキャリアパス拡大のための教育について

承合事項として、

1. 教員の充足状況について
2. 博士後期課程学生への経済的支援について
3. 法人化後の財政状況の変化について

等について、活発な意見交換及び情報交換が行われました。

参加大学：北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、広島大学、九州大学

カルフォルニア大学ロサンゼルス校(米国)と大学間交流協定へ

カルフォルニア大学ロサンゼルス校とは、平成16年に理学部と部局間交流協定を締結し、活発な相互交流を行ってきたところ、このたび6月29日～7月1日に開催されるG8大学サミットに当該大学長が出席することとなったのを機に、大学間交流協定を締結することになった。

本学理学研究院・電子科学研究所と21世紀COEプログラム等においてこれまで活発に、人事交流と共同研究を行ってきた。

UCLAの数学部門は100人規模の教員を有し、純粋から応用に至る数学研究を活発に展開している。また、UCLAはIPAM(Institute of Pure and Applied Mathematics)を併設しており、世界における主要な数学研究拠点であり、同様にカルフォルニアアナノシステム研究所をも併設し「ナノ」研究の世界的拠点でもある。

このような人事と研究交流の実績を踏まえて、これまでの個人ベースの交流からより一歩進んだ交流を計画している。具体的な交流計画な1つとしては、本学が本年度から理学研究院が開始した日本学術振興会のITPプログラム(International Training Program)「特異点・トポロジ・数理解析を基盤とする北大モデル数学若手研究者国際派遣事業」のパートナー研究機関であるので、このITPを活用して博士後期課程の大学院生をIPAMの研究集会に派遣し、学際性と国際性を備えた若手研究者として養成することを計画している。

なお本協定は、G8大学サミットに先立ち、6月29日(日)京王プラザホテル(札幌市)において佐伯総長、本堂理事(国際担当)山口理学研究院長等により調印された。

「キャンパス・クリーン・デー」を実施

札幌キャンパスを対象とした全学一斉の構内清掃作業「キャンパス・クリーン・デー」が、平成20年4月25日（金）に実施され、理学部でも多くの教職員・学生が参加しました。

「キャンパス・クリーン・デー」は、「市民の美しい憩いの場」である北海道大学キャンパスの環境保全事業の一環として、例年実施されているものです。

汗を拭きながら、鉄屑・廃材と変わり果てた放置自転車や雪害等により折れてしまった樹木の枯枝等を運ぶ教職員・学生の姿が目を見ました。

北大祭「理学展」開催

本年も6月5日（木）～8日（日）の間に開催された北大祭の一環として、「理学展」が実施されました。

実験の成否に一喜一憂する子供たちと一緒に童心に返ったような親の笑い顔が印象的でした。模擬店が目立つ大学祭のなかで、体験実験を主体とする理学展のとりくみは、「理科ばなれ」が懸念されている昨今、特に期待が高まっています。

貴重な土日に本企画に携わった学生諸君やお世話くださった学生委員をはじめとする教員各位に敬意を表します。

以下に、各学科の企画内容（テーマ）を紹介します。

講演会：「半導体二次元電子の量子輸送」（講演者 川路紳治氏）

ペットボトルロケット教室

数学展

数学クイズ&パズル

物理学展

自家発電機体験をしよう

化学展

超伝導体を見よう！ 磁性スライムにふれよう！

酸素と天然色素のワンダーランド

スライムを作ろう

コンピューターで見る分子の世界

科学捜査班（微量な痕跡から犯人を捜し出す）

虹色を観察しよう、作ってみよう

高分子学展

不思議なスライムを作ってみよう

液体窒素を使って超低温の世界を体験しよう

身近なもので割れないシャボン玉を作ろう

地球科学展

地球科学科写真展 The world of Earth Sciences

恐怖！家が沈んでいく・・・液状化実験

深海から浅瀬までの海底砂漠様実験

火山の仕組みがわかる溶岩実験

もくもく雲作り

目で見る放射線～霧箱実験

天気図解説

学会賞等の受賞等

北海道大学大学院理学研究院 自然史科学部門 教授（地球惑星システム科学分野）**塚本 尚義 氏**は、論文「同位体顕微鏡－高感度二次元イオン検出による結像型SIMS」により、平成20年5月22日、日本顕微鏡学会から「日本顕微鏡学会 論文賞」を受賞されました。

国際会議・シンポジウム等の開催

○ 北海道大学グローバルCOEプログラム「触媒が先導する物質科学イノベーション」 ー物質・材料研究機構国際ナノアーキテクトニクス(NANA)ジョイントシンポジウム 「化学を基盤とする物質科学イノベーション」 【化学専攻】

主催：北海道大学グローバルCOE、物質・材料研究機構ナノアーキテクトニクス（NANA）

開催期間：平成20年5月27日、28日

会場：北海道大学 理学部 大講堂

出席人数：100名

世話人：村越 敬（理学院 化学部門）

○ ハイスクールフォーラム08札幌「生物の多様性を考える」 【生命理学専攻】

主催：国際生物学オリンピック日本委員会

開催期間：平成20年5月17日

会場：北海道大学 理学部 大講堂

出席人数：高校生約130名、高校教員等約20名

世話人：山本 興太郎（理学院 生命理学部門）

○ サステナ・シンポ「Taxonomy Returns!」 【総合博物館】

主催：北海道大学総合博物館

開催期間：平成20年6月28日、29日

会場：北海道大学総合博物館・知の交流コーナー

出席人数：約100名

世話人：馬渡 駿介（総合博物館館長）

外国人研究者受入状況

期間：2008年04月02日～2008年07月01日

(受入れ部門名：数学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2007.04.01 -2008.09.19 【再掲】	インド：C.C.S. University, Meerut 研究員 Punam Phartyal	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・井上 昭彦】
2007.10.09 -2009.10.18 【再掲】	オランダ：University Libre de Bruxelles 研究員 Otto van Koert	研究打合せ 【日本学術振興会事業・小野 薫】
2007.10.20 -2008.10.20 【再掲】	中国：North East Normal University 研究員 陳 亮	研究打合せ 【私費(研究者本人負担)・泉屋 周一】

(受入れ部門名：化学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2007.10.01 -2009.03.31 【追加報告】	中国：北海道大学大学院理学研究院 博士研究員 趙 健偉	グローバルCOEプログラム 「触媒が先導する物質科学イノベーション」 に関する研究 【北海道大学・村越 敬】
2008.03.01 -2008.05.31 【再掲】	カナダ：Simon Fraser University Associate Professor (サイモン・フレイザー大学・准教授) Hua-Zhong (Hogan) Yui	共同研究・視察および学術講演 【日本学術振興会事業・魚崎 浩平】
2008.04.12 -2010.03.31	中国：中国科学院 長春応用化学研究所 研究生 史 立紅	博士研究員として研究活動 【グローバルCOEプログラム・魚崎 浩平】
2008.06.28 -2008.12.31	カナダ：サイモン・フレイザー大学 修士課程2年 姜 志峰	特別研究学生として研究活動 【外国政府、研究機関及び国際機関・魚崎浩平】

(受入れ部門名：自然史科学)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2007.06.09 -2009.06.08 【再掲】	ロシア連邦：ロシア科学アカデミー 太陽地球物理研究所 Junior Research Scientist・ Elvira I. Astafyeva	稠密GPS網を利用した地震に伴う電離層 擾乱に関する研究 【日本学術振興会事業・日置 幸介】

(受入れ部門名：地震火山研究観測センター)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 【経 費 等・受入教員】
2008.04.01 -2008.08.20	ロシア連邦：ロシア国立極東大学環境 学部 講師 Nikolay Shestakov	ロシア極東・サハリン・カムチャッカ地域の 広域 テクトニクスについてのデータ解析及びその モデル化 【北海道大学・高橋 浩晃】
2008.05.08 -2008.08.31	フィリピン：フィリピン火山地震研究 所 研究員 Mon Pierre Menguito	フィリピンの火山の地殻変動の研究 【国際協力機構・村上 亮】

海外からの来訪者(短期滞在)

期間：2008年04月02日～2008年07月01日

【受入れ部門名：数学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員)
2008.03.29 -04.05	アメリカ： University of Michigan 教授 Yongbin Ruan	研究打合せ (小野 薫)
2008.04.02 -04.20	アメリカ： University of Oregon 教授 Sergey Yuzvinsky	研究打合せ (寺尾 宏明)
2008.06.05 -06.20	アメリカ： Bucknell University 客員教授 Matthew Miller	研究打合せ (寺尾 宏明)
2008.06.09 -06.14	ドイツ： International Institute for Applied System Analysis 研究員 Axel Rossberg	研究集会「環境問題におけ る 数理の可能性」への参加と 講演 (坂上 貴之)
2008.06.10 -06.13	スイス： Ecole Polytechnique Federale de Lausanne 主任研究員 Marco Picasso	研究集会「環境問題におけ る 数理の可能性」への参加と 講演 (坂上 貴之)
2008.06.18 -06.25	アメリカ： Purdue University 教授 Patricia Baumann	偏微分方程式セミナーでの 講演 (神保 秀一)
2008.06.18 -06.25	アメリカ： Purdue University 教授 Daniel Phillips	偏微分方程式セミナーでの 講演 (神保 秀一)
2008.06.18 -06.26	フランス： Centre National De La Recherche Scientifique 教授 Serge Bouc	研究集会 「第25回代数的組合せ論」 への 参加と講演 (田邊 顕一郎)

【受入れ部門名：自然科学】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員等)
2008.05.05 -05.09	韓国： ソウル国立大学 准教授 Byeon-Gak, Choi	共同研究 (塚本 尚義)
2008.06.08 -06.15	アメリカ： 早稲田大学 准教授 Timothy Fagan	共同研究 (塚本 尚義)

【受入れ部門名：総合博物館】

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的 (受入教員等)
2008.06.26 -06.30	南アフリカ：クワズルナタル大学 教授 Denis Brothers	シンポジウムでの講演 (馬渡 駿介)

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

学位授与

平成20年6月30日付け学位授与者

【課程博士】（理学研究科4名）

伊藤 賢太郎（数学専攻）

Intermittent switching for three repulsively coupled oscillators
(反発的結合三振動子系における間欠的遷移現象)

主査 教授 西浦 廉政

山口 裕（数学専攻）

A Mathematical Model for the Hippocampus: towards the Understanding of Episodic Memory
(海馬の数理モデル：エピソード記憶の理解に向けて)

主査 教授 津田 一郎

武田 貴志（化学専攻） 《優れた研究業績を上げた者と認め、在学期間短縮認定》

Unusual Covalent Bonding at *Peri*-position of Naphthalene Derivatives: Ultralong Carbon-Carbon Bond and Isolable C-H Bridged Carbocation

(ナフタレン誘導体のペリ位における特異な共有結合性：極度に伸張した炭素-炭素結合と単離可能なC-H架橋カルボカチオン)

主査 教授 鈴木 孝紀

杉尾 むつ美（生物科学専攻）

The stem cell systems for asexual and sexual reproduction in an enchytraeid oligochaete, *Enchytraeus japonensis*

(ヤマトヒメミミズの生殖を支えている幹細胞システムに関する研究)

主査 准教授 柄内 新

人事異動

対象期間：平成20年4月2日～平成20年7月1日

<正規職員>

平成20年4月1日付け発令（追加）

（昇任）

技術部技術専門員 同部技術専門職員から	三 浦 富 夫
技術部技術専門職員 同部技術職員から	小 畑 滋 郎

平成20年4月16日付け発令

（昇任）

化学部門物理化学分野准教授 同分野講師から	木 口 学
化学部門物理化学分野准教授 同分野講師から	池 田 勝 佳
化学部門無機・分析化学分野准教授 同分野講師から	分 島 亮

<非常勤職員>

（採用、配置換）

H20. 4. 9 数学部門	事務補助員	山 下 明
H20. 4. 9 自然史科学部門	事務補助員	佐 藤 純
H20. 4.14 物理学部門	学術研究員	石 塚 千香
H20. 4.17 自然史科学部門	博士研究員	青 木 邦
H20. 4.21 庶務担当・産学連携事務室	事務補佐員	小 林 円
H20. 4.24 数学部門	学術研究員	笹 山 智
H20. 5. 1 数学部門	学術研究員	服 部
H20. 5. 1 物理学部門	技術補助員	村 上 英

H20. 5. 1 化学部門	博士研究員	種田 憲人
H20. 5. 1 化学部門	技術補助員	大子 味恭
H20. 5. 1 化学グローバルC O E	学術研究員	佐々木 陽一
H20. 5. 2 物理学部門	技術補助員	天野 春樹
H20. 5. 8 物理学部門	事務補助員	鈴木 比奈
H20. 6. 1 数学部門	技術補助員	天谷 洋祐
H20. 6. 1 地震火山研究観測センター	博士研究員	本多 亮
H20. 6. 1 庶務担当	事務補助員	大子 引絵里
H20. 6.10 数学部門	学術研究員	笠原 雪夫
H20. 6.16 物理学部門	学術研究員	福永 正則
H20. 6.18 数学部門	学術研究員	賈正 現
H20. 7. 1 化学部門	特任助教	渡辺 賢二
H20. 7. 1 自然史科学部門	学術研究員	木村 会欣

(任期满了退職、辞職、転出)

H20 .4.14 化学部門	博士研究員	神明 谷 宗
H20. 4.30 自然史科学部門	事務補助員	高子 橋 玲
H20. 4.30 自然史科学部門	事務補助員	前田 房美
H20. 4.30 自然史科学部門	博士研究員	大和 西 美
H20. 4.30 庶務担当・産学連携事務室	事務補佐員	伊路 原 敬
H20 .5.31 数学部門	学術研究員	金善 香
H20. 5.31 自然史科学部門	技術補助員	坂織 内 香
H20. 5.31 地震火山研究観測センター	事務補助員	竹愛 部 場
H20. 6.29 数学部門	学術研究員	服新 丹 舞
H20. 6.30 地震火山研究観測センター	学術研究員	

行事予定

〈平成20年7月～平成20年10月〉

月	日	曜	事 項
7	10	木	16:00頃 理学院入試出願資格予備審査結果通知
	11	金	大学院理学院修士（博士前期）課程及び博士後期課程入学願書受付【～17日（木）】
	23	水	理学院・理学部補講・集中講義期間【～25日（金）及び30日（水）～8月1日（金）】
	30	水	全学教育科目 初習外国語統一試験
	31	木	全学教育科目 木曜日の授業終了（16週目）
8	1	金	理学部専門科目・理学院第1学期授業終了
	3	日	北海道大学オープンキャンパス【～4日（月）】
	4	月	理学院・理学部（専門科目）夏季休業【～9月19日（金）】
	6	水	全学教育科目 水曜日の授業終了（16週目）
	7	木	全学教育科目 月曜日の授業振替補講日・月曜日の授業終了（16週目）
	8	金	全学教育科目 火曜日の授業振替補講日・第1学期授業終了（16週目） 理学部（物理学科）編入学試験
	11	月	全学教育部夏季休業【～9月26日（金）】
	15	金	9月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	15	金	研究生・聴講生・科目等履修生入学願書受付【～21日（木）】
	20	水	大学院理学院修士（博士前期）課程及び博士後期課程入学試験【～22日（金）】
	22	金	学位申請（9月付託）締切
9	4	木	15:30頃 編入学試験合格者発表、16:30頃 理学院入試合格者発表・非正規生入学許可通知
	上～中旬		学科等分属手続き（平成18年度以降入学者のみ対象）
	22	月	理学院・理学部専門科目 補講・集中講義期間【～26日（金）】
	25	木	学位記授与式
	26	金	学部1年次学修簿配付
	29	月	第2学期授業開始（理学院・理学部・全学教育科目）
	29	月	全学教育科目 抽選科目の申込期間【～30日（火）】
10	3	金	学位申請（10月付託）締切
	7	火	学部生（平成17年度以前入学者）履修届受付【～8日（水）】 学部生（平成18年度以降入学者）履修届Web入力【～10日（金）】
	9	木	AO入試出願受付期間【～16日（木）17:15必着】
	10	月	理学院秋季特別入試出願期間【～16日（木）】
	14	火	大学院履修届受付【～17日（金）】
	31	金	AO入試第1次選考結果通知（見込）